

## 調査研究報告書の発行にあたって

全国健康保険協会は平成 20 年 10 月に設立され、今年で 13 年目を迎えます。

当協会は、主に中小企業で働くサラリーマンとそのご家族の皆さまを中心に、国民の 3.1 人に一人、4,000 万人を超える加入者と、約 235 万の事業所からなる日本最大の医療保険者であり、我が国の国民皆保険の一翼を担っています。

当協会の役割は、地域の実情を踏まえた自主自律の運営を行い加入者の健康増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療が享受できるようにすることによって、加入者と事業主の皆さまの利益の実現を図ることです。

平成 30 年 4 月に策定した保険者機能強化アクションプラン（第 4 期）では、「ビッグデータを活用した個人・事業所単位での健康・医療データの提供」、「データ分析に基づいた第 2 期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施」、「ジェネリック医薬品の使用促進」、「医療データの分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけ」などの戦略的な保険者機能の一層の発揮を掲げ、研究・調査分析の取組を更に推進することとしております。

今年は、6 月に開催を予定していた当協会の調査研究フォーラムを、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から見送りました。また、多くの学会がオンライン開催等に変更されました。そのような例年と異なる環境の中、本部においては、レセプトデータを活用した抗菌薬の使用状況や診療時間外受診等の地域差分析等の研究を行い、支部においては、レセプトデータ・健診データを活用した不眠に起因するうつ病・睡眠時無呼吸症候群の研究やコラボヘルス事業の効果検証等を実施し、その分析結果について、プレスリリースや学会での発表等を行ってまいりました。

これらの 1 年間の成果を取りまとめ、広く情報発信を行うとともに、当協会の調査研究のさらなる発展を目的に、令和 2 年度「調査研究報告書」を発行いたします。

今年度は、上記の分析など計 15 本が収録されております。ご高覧いただければ幸いです。

当協会は、加入者の皆さまの健康づくりや重症化予防、医療の適正化等の取組を通じ、加入者と事業主の皆さまの利益の実現を図る様々な取組みを進めてまいります。今後とも、ご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和 2 年 11 月

全国健康保険協会  
理事長 安藤 伸樹